

城下町の屋外広告物に対する活動報告

－ 城下町における屋外広告物の現状とこれまでの取組 －

昨今の城下町では、多くの観光客にお越しいただき賑わう一方で、店舗ごとに看板類やのぼり旗の乱立など、城下町としての景観の乱れが気になるようになってきました。

そこで、2019年度に、より美しい城下町を目指すための「犬山城下町屋外広告物ガイドライン」をまとめました。

このガイドラインは、地元の店舗事業者や住民とワークショップを行い、地元と市が協働して作成したもので、具体的な屋外広告物に対する「禁止」、「配慮」、「工夫」、「推奨」事項を明示しています。

城下町周辺の各店舗事業者には、ガイドラインを個別に配布するとともに、ガイドラインを参考にした屋外広告物を表示するよう働きかけを行ってきました。

○今年度の活動

◆屋外広告物現地確認

第 1 回 令和 6 年 5 月 11 日（土）、第 2 回 令和 6 年 11 月 16 日（土）

・参加者：広告物アドバイザー 2 名、都市計画課職員 4 名

・現地確認範囲：本町通及びその周辺

城下町の現地確認を行い、広告物を出している店舗へのチラシの配布及びガイドラインの周知を行いました。

アドバイザーによる屋外広告物の現地確認やアドバイスにより、城下町らしい屋外広告物が増えました。また、屋外広告物ガイドラインの普及により、屋外広告物設置前の相談も増えてきています。



○広告物アドバイザーについて

市職員と一緒にガイドラインに適合するよう周知・啓発を行うと共に、デザインの専門家の視点より、屋外広告物の改善に向けたアドバイスを行う。

◆石井 晴雄 氏（愛知県立芸術大学名誉教授）

犬山城下町屋外広告物ガイドライン作成時から継続して本事業に携わる。

◆夏目 知道 氏（愛知県立芸術大学准教授）

令和3年度より広告物アドバイザーとして活動。